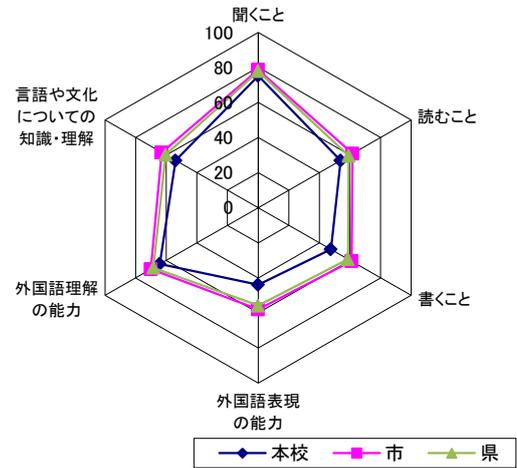


# 宇都宮市立鬼怒中学校第2学年【英語】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	聞くこと	75.2	78.7	77.8
	読むこと	53.9	61.7	59.2
	書くこと	47.5	61.0	58.7
観点	外国語表現の能力	43.9	57.9	55.8
	外国語理解の能力	64.3	70.1	68.4
	言語や文化についての知識・理解	53.9	63.0	60.4



## ★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まとまりのある英文の聞き取りに関しては、正答率が県平均より4.5ポイント上回っている。</li> <li>○聞き取り問題の正答率は、他の分類の問題に対して正答率が高い。</li> <li>●対話文の聞き取りや応答に関する問題では、市・県平均より下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまりのある英文の内容を聞き取り、日本語で答える力は、身に付いてきている。そこで、その力をさらに伸長するために、思考力や判断力・表現力を必要とする応用的な聞き取りの機会を増やす。</li> <li>・ALTとの対話を数多く聞かせたり、聞き取りの核となる曜日・時刻・大きさ・物の位置などを表す語句を再確認させたりして、聞き取りの力をさらに身につけさせる。</li> </ul>
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○手紙文の内容を読み取る問題では、正答率が市・県平均とおおむね同等である。</li> <li>●まとまりのある英文の内容を読み取る問題では、正答率が市・県平均を下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代名詞の指す内容を常に確認しながら英文を読む習慣を身につけさせ、手紙文の内容を簡潔に説明できるようにさせる。</li> <li>・まとまりのある英文を読む際に、気をつけて読むべきポイントを指導し、対話文やグラフなどから必要な情報を読み取る力を、身につけさせる。</li> </ul>
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●語順の理解とともに英作文の問題は、本校の正答率が市・県平均をもっとも大きく下回る分類である。</li> <li>●場面や条件・テーマに応じた英文を書く問題の正答率は、市・県平均を7～20ポイントと大きく下回る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問文の構造を復習し、小テストを繰り返すことにより定着させる。</li> <li>・基本的な単語や連語を繰り返し学習し、英作文に活用できるようにさせる。</li> <li>・主語のない命令文や勧誘の文を繰り返し作せたり、様々な形の短文を作せたりして、自分の考えをスピーチ(長文)にできる力を身につけさせる。</li> </ul>